

名神名阪連絡道路有識者委員会（第1回）議事概要

1.日 時

令和4年11月16日（水）

午後1時30分～午後3時30分

2.場 所

滋賀県庁危機管理センター 災害対策室3・4



3.出席者（五十音順、敬称略）

[委員長] 立命館大学教授 小川 圭一

[委員] 三重大学教授 朝日 幸代

一般社団法人滋賀県トラック協会 女子部会長 平川 千波

立命館大学教授 深川 良一

名城大学教授 松本 幸正

4.議 事

（1）地域特性、（2）道路交通課題、（3）地域の将来像、（4）政策目標（案）

（5）意見聴取方法（案）、（6）有識者委員会および意見聴取（PI）の流れ（案）

5.委員からの主な意見（「」は、事務局回答）

（1）地域特性、（2）道路交通課題、（3）地域の将来像

- ・通行規制と迂回機能について、もう少し広域的な視点で整理するほうが説得力があるのではないかと。
- ・名神名阪連絡道路は大規模事業になると思うが、有料道路で考えているのか。
早期整備のために有料道路制度の活用は必要と考えている。
- ・地滑り地域では地震等により道路が被災することも有り得るので、トンネル構造も検討する必要があるのではないかと。
- ・物流について、具体的にどのような製品が運ばれているかわかると良い。
- ・山間部では豪雨・豪雪の地域があることも課題。

（4）政策目標（案）

- ・物流と交通安全を分ける方向で整理すること。
政策目標として分けることを検討する。

（5）意見聴取方法（案）、（6）有識者委員会および意見聴取（PI）の流れ（案）

- ・アンケートは政策目標を評価し得る設問にしたほうが良い。
- ・地域住民と道路利用者で設問を分けるか、あるいは設問を分けずに抽象化するか検討すること。
- ・初めてアンケート票を見た方でも理解できるよう工夫すること。
- ・誰にどのような内容を聴きたいのかを明確にしたほうが良い。